

学科 学年	M3 E3 D3	科目 分類	歴史 History	講義 必修	20通年 2単位	学習教育 目標 (A)	担当	鈴木 静恵 SUZUKI Shizue
概要	大航海時代とともにヨーロッパで主権国家体制が成立し世界の一体化が開始されたこと。さらに市民革命と産業革命を経て成立した欧米国民国家の主導下に全世界が国際的分業体制に組み込まれてゆき、その過程の中から現代世界が形成されてきたこと。これにより、戦争も平和も人類全体にかかわるものとなり、今日の世界の様々な問題が生み出されてきたことを学ぶ。							
科目目標 (到達目標)	近現代史の学びを通して、今日の世界の様々な課題についての理解を深める。							
教科書 器材等	高校世界史B改訂版、佐藤次高・木村靖二・岸本美緒 共著、山川出版社 最新世界史図説タペストリー、帝国書院							
評価の基準と 方法	定期試験の成績約70%、平常授業での積極的な学習姿勢（レポート提出等を含む）約30%として評価。60点以上を合格とする。							
関連科目	地理							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ガイダンス						
第2回		近代の幕開け（1）						
第3回		近代の幕開け（2）						
第4回		ヨーロッパ諸国の海外進出						
第5回		市民革命の時代（1）						
第6回		市民革命の時代（2）						
第7回		産業革命						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		国民国家の発展（1）						
第10回		国民国家の発展（2）						
第11回		国民国家の発展（3）						
第12回		19世紀欧米の社会と文化						
第13回		西力東漸下のアジア						
第14回		明治維新と岩倉使節団						
第15回	×	前期期末試験						
第16回		帝国主義の時代						
第17回		第一次世界大戦						
第18回		ロシア革命とソヴィエト連邦						
第19回		ヴェルサイユ体制						
第20回		世界恐慌とファシズムの台頭						
第21回		日本の東アジア侵略						
第22回		第二次世界大戦						
第23回	×	後期中間試験						
第24回		戦後日本の変革						
第25回		ヤルタ体制と冷戦の開始						
第26回		中華人民共和国のあゆみ						
第27回		アジア・アフリカの自立と混乱						
第28回		冷戦の終結						
第29回		ナショナリズムの克服—EUの実験						
第30回	×	学年末試験						
オフィスアワー	質問等には授業日の放課後等に対応できる。							
授業アンケートへの対応	授業進度の遵守。適切な質疑応答を通じて一方的講義にならぬよう心がける。分かり易く見やすい板書を心がける。							
備考	適宜ビデオ教材等を使用							
更新履歴	20080314、新規作成							